

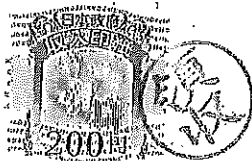
| | |
|------|-----------|
| 出金日 | 令和2年3月17日 |
| 項目 | 広報費 |
| 摘要 | しおかぜ会報2号 |
| 金額 | 59,400 円 |
| 支出内訳 | 別添請求書の通り |
| 領収書 | |

領収書 魚津市議会会派 しおかぜ様 No. _____

★ 59,400 円

但 しおかぜ会報 2号

令和2年 3月 17日 上記正に領収いたしました



富山県魚津市北鬼沼 12-27

新 誠 堂

代表者 健 電話 (0765) 22-4014

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

氏名 石崎一成
浜田泰友

| | | |
|--------|-----------|------------|
| 承 認 | 会派会長印 | 経理責任者印 |
|--------|-----------|------------|

魚津新誠堂 請求書

No. B-222

しおかぜ様

魚津市 27号

印刷のことならなんでも
総合印刷

新誠堂

令和 2 年 3 月 3 日
下記のとおりご請求申し上げます

代
理
店

合計金額 ￥59,400-

| 品名 | 数量 | 単価 | 金額 |
|------------|------|-----|--------|
| しおかぜ会報 第2号 | 200部 | 18 | 54000- |
| 消費税 | | 10% | 5400- |
| 合計 | | | 59400- |

(取引銀行) 北陸銀行魚津支店 (☎0254540) ・ 富山第一銀行魚津支店 (☎034116) ・ にいがた信用金庫本店 (☎0054870)

魚津新誠堂 納品書

No. B-222

しおかぜ様

魚津市北鬼江一丁目2番27号

印刷のことならなんでも
総合印刷

新誠堂

令和 2 年 3 月 3 日
下記のとおり納品いたします

代表者 西尾 健一
TEL (0765) 22-4014

合計金額 ￥59,400-

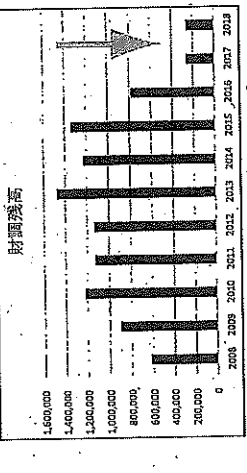
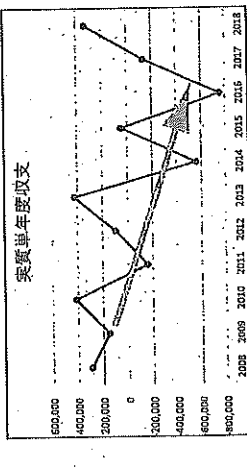
| 品名 | 数量 | 単価 | 金額 |
|------------|------|-----|--------|
| しおかぜ会報 第2号 | 200部 | 18 | 54000- |
| 消費税 | | 10% | 5400- |
| 合計 | | | 59400- |

魚津市財政再建への道

◆**原料中止!**
 平成31年2月、村椿市長は公約としていた産科、子育て支援プラザの開設を中止する発表を行いました。財政再建がその理由です。近年は感性的な財源不足のため財政調整基金(※市の貯金)による補填が続いていますが、基金が枯渇寸前まで落ち込んだことから、早急な対策が必要となりました。

◆**財政難はなぜ起きた?**
 財政見通しの悪化は以前より指摘されています。財政状況を示す2つのグラフから見て取れるように、財政収支状況を示す実質年度収支は下降気味、財政調整基金残高は急激に減少しています。予算編成の財源不足は例年5億から7億円あり、市も改革が必要との認識でした。学校施設合による大型建設事業、平成30年1月2月の大雪による除雪費の支出、進まない行政改革で県内ワーストの経常経費(※例年かかっている経費)などで財政状況は急激に悪化。予算編成が難しいというところまで追い込まれたのです。

◆**財政再建への道**
 令和元年、魚津市は財政健全化計画を策定しました。令和6年までに年5億円の財源不足を解消し、財政調整基金の残高を4倍の10億円にまで積み増すことを目標としています。そのために、行政コストのスリム化はもちろですが、公共施設の再編や利用料金の値上げなど、市民の皆さまにご負担をいただくこともあると思えます。



◆**会派しおかせとしての考え**
 人口減少・少子高齢化社会で、今までと同じだけのものを維持していくのは難しい世の中になってしまいました。本当に必要なものは何かを考え、選んでいかななくてはなりません。私たちはそのような視点で、地域づくりやまちづくりへの活動を行ってまいります。財政状況についても、必要なものを残しつつ時代に合わせて再設計していく考えで取り組んでいきます。別掲で、議会での議論の一部を紹介させていただきます。もちろん、ぜひご覧ください。

会派視察事例

全天候型遊園施設の視察と提案 (東京都足立区ギヤラクジエン)

プラネタリウムをリノベーションして精密制御度を活用した公共施設である。入ってすぐの正面玄関の壁面にある高さ約8mのボールゲームがある。子供の成長に合わせてボールゲームウォールを3面設置している。また、3階までの吹き抜け空間に3層構造の巨大なネット遊具を設置して、非日常的な空間の遊び場を創出している。施設内には乳児が親子で遊べる有料の子育てサロンや、幼児が遊べるプレイルーム、知育玩具のレンタルサービスがある。更に小中学生向けの科学実習室では子供の休日に合わせた様々なイベントが開催されており、自由研究の課題の提供もしている。隣接した区民ホールと空間共有もなされており、赤ちゃんと高齢者までが訪れるエリアとなっている。

魚津市でも近年になり屋内キッズスペースが設置され始めたが、雨や雪の多い時期に幼児や小学生が全力で遊べる場所が少ない。例えば、今回の視察先で見たネット遊具をカニ籠に模した型にして設置することで、「魚のまち」であり「カニ籠発祥の地」である魚津の知名度向上や、公共施設の利用促進に付与し、子育てしやすいまちとして着者の移住・定住の促進や関係人口増加を目指す施設が目玉となるのではないかと考える。 2018年7月31日

しおかせ会報

魚津市議会会派
 第2号
 (令和2年3月1日発行)
 発行者 浜田 泰友
 魚津市三ヶヶ1, 228

しおかせコラム
「パークマネジメント」って何ですか?
 平成の中頃からよく耳にするようになった言葉ですが、公園を施設管理するだけではなくて周辺のニーズや生活に合わせて積極的に活用することで、公園そのものや近隣の付加価値を総合的に高めていこうという考えです。言い換えれば、地域の人たちが関わるほどフィット感が増すようになるという理念の考えです。

浜田 泰友
 年齢42歳(3期)

石崎 一成
 年齢45歳(1期)

公園の持続的な活用全般的な仕組みの事です。よ。従来の日本的な公園管理とはちよっと違う感じ。

です。よ。子供が多い地域では遊具が多い方が喜ばれると思います。高齢の方が多ければ野菜作りをみんなが楽しめる方が喜ばれるかもかもしれません。

利用がなければ公園の役割を果たさないです。よ。そこで、市はパークマネジメント基本方針を立て、公園の在り方を見直しすることになっています。

魚津市はミラージュランドを含む魚津市総合公園のリノベーションを今年度から開始しました。行政事業にビジネス&社会貢献を合わせて持続可能なサービスとして市民で協働していく仕組みです!

水族館のお花見イベント、「桜のページェント」も今年で16回目。春を楽しみお定番行事になったじゃないですか! コツコツ続けることも重要です。

では、4月に桜のページェントで会いましょう!

地域で利活用を促進して手入れも自主的に進めよう形になればいいですね。そのためには必要経費もはつきりして欲しいし、お金の使い方もメリハリが出来る長いですね。

公園利用の自由度が上がるのは楽しみです。カフェや飲食イベントも充実すれば、休日をのんびり公園で過ごす人が増えますね!

年々お香さんが増えていきますもんね。今年度は桜が早そうなのできつと満開ですね!

確かに! 子供の居ない地域に遊具フル装備の公園が有っても維持管理の方が大変です。よ。プラントや花壇ではなくて、トマトやナスビなんかを栽培出来れば毎日みんなん来ますよな。

市内の公園はどれもフェンスで仕切られていて、設備もみんな同じ感じがしますが...



友泰田 浜田

質問の要点

※ 財政問題に関する質問

- 財政見通しの見解は？
→ 魚沼市の財政はかつてない厳しい財政状況。財源不足はおおよそ7億円。平成31年度以降も毎年5億から7億円程度の財源不足が見込まれており、早急な行政改革が喫緊の課題。(H30.3)
- 財政状況の危機レベルをどのように捉えているか？
→ 現状では危機的レベルというまでではないが、今後は厳しい財政運営が見込まれるという認識を持っている。早急に行財政改革に取り掛かることで、将来にわたって持続可能な健全財政を目指したい。(H30.6)

※ 公共施設再編に関する質問

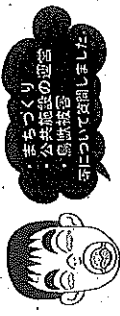
- 本江公民館の建替えについて。平成28年の実施計画には記載されていたが、平成29年では見送りになった。その後、平成30年度当初予算では用地取得費が計上されている。計画は一体どうなっているのか？
→ 地元の合意も得られず用地取得のめどが立たないこと、今回、その用地取得についての計上をした。本来であれば、全体の計画の中でそういう流れが示せば一番いいとは思いますが、これまでの話し合いの中でそういう状況になった。(H30.3)
- 本江公民館は設計費で4,600万円、建設費で約3億円。それに解体費がかかる。今年設計して来年建設できるのか？
→ 予算確定の最終段階でこの金額が載っているが、詳細については詰まっていない。少なくとも用地取得のめどが立たない。建設時期は、まだ具体的な時期を特定することは難しい。建設はかけていく必要があるとは思っている。(H30.3)
- 小学校のプールを市営プールに集約して、小学校のプールを廃止する考えは？
→ 水泳指導は一部協議等から来ていたのだけれども、新しくできるプールでやっていたほうが児童も教師も管理者に与ってもいい。今後の小学校のプールのあり方については検討課題。(H30.12)

※ 子育て支援に関する質問

- 子どもの遊び場についての見解は？
→ 将来の屋内の子ども遊び場の整備に向けて検討を進めるため、ありそども内にキッズスペースをトライアルオープンした。第2期は市内子ども、子育て支援事業計画の改定に際し、子どもの遊び場も含めた見直しについて、しっかりと検討する。(H30.9)
- 病児・病後児保育の充実は？
→ 病児・病後児保育施設が大きな役割を果たしており、昨年度は649名、今年度は2月末現在で576名の利用。保育者とスタッフがあり、断ったケースも昨年度は5日間、今年度は2月末現在で97日間あった。病児・病後児保育事業を拡充し、送迎対応も行う。送迎対応の看護師等は、送迎のない時間帯においては、病児・病後児保育に従事することが可能となるので、利用を断らざるを得ないケースの削減にもつながる。(H29.3)

※ まちづくりに関する質問

- それぞれの公園の特性を生かした管理運営を行うパークマネジメント計画の策定は？
→ パークマネジメント計画は、行政、市民、民間が連携して公園を管理していく新しい手法。子どもの利用が多い公園であつたり、大人が中心の憩いの公園であつたり、あるいはペットを連れて来た方が集まる公園であつたり、いわば利用者の特性に応じてさまざまな形態がある。公園それぞれの特性に応じて効果的な管理を今後考えていく必要がある。(H31.6)
- 空き家対策の進捗は？
→ 平成29年11月に経田西町地内の空き家を本市として初めての特任空家等に認定。(H30.3)
- 取岡辺まちづくり構想で、日本カーバイド工業の敷地の活用は？
→ 日本カーバイド工業の敷地はゾーニングエリアから外れている。平成29年度から、日本カーバイド工業とは定期的に工場敷地の有効活用などについて、意見交換を行っている。(H31.3)



一成 石崎

質問の要点

※ まちづくりに関する質問

- 都市マスタープランにおける人口増加・高度成長期の時代につくられた計画や線引きを見直しするということは抜本的に考えられないか？
→ 当市の都市マスタープランは昭和10年に最初の都市計画区域の指定を受けた後に通見直しを行い、市全体の面積200km²のうち約20%の44.4km²が都市計画区域である。現在は20年後を展望して改訂作業を進めているが、課題を解決するために立地適正化計画の策定として人口減少社会もマツするよう従来の土地利用計画に加えて、居住機能や都市機能の再整備と公共交通ネットワークの形成に向けた取り組みなどを推進していく。(H29.6)

● 市の西部は震源域外により新たな開発が難しい状況下において、住宅・商業・工業の立地や住宅団地造成などが制

- 市の西部は震源域外により新たな開発が難しい状況下において、住宅・商業・工業の立地や住宅団地造成などが制限される可能性も課題として認識している。農地転用に関する制限については、農地転用に関する制限はできないが、現実として開発の余地というものは数々あるものもあつたり考えていきたいと思つており、県や市の機関と相談しながら進めていきたい。(H30.12)
- 住宅地、または工業・商業地の開発行為と周辺の水路、土地改良区事業による水利の多面的利用は、当市において矛盾する面がある。どのようにしてかみ合わせていくのか？
→ 農業用水等の利用に関しては、農業振興地域では主に農業用の用水路として利用することが多い。一方、下流域では道路や住宅地の表面排水を流す水路としても活用されるという側面を持っている。住宅地や工業・商業の開発行為は農業用水として水利の確保を両立し多面的な水の利活用が図られるように、土地改良区や関係機関と協議しながら進めていきたい。(R1.9)

※ 公共施設の運営に関する質問

- 市内の公共施設の総経費は幾ら程か？
→ 市所有の公共施設は全部で154施設、主要な74の施設の現在公表しているデータは、平成29年度決算ベースでの八件費や減価償却費なども含めたフルコストが約2億5,000万円。これに対して施設収入は3億2,000万円。例として、ありそども中心の場合、フルコストが約2億4,000万円、魚津水産物館が約2億円、株山運動公園が約2,000万円、新川学びの森天神山交流館が約1億2,000万円。(R1.6)

※ 鳥獣被害に関する質問

- 鳥獣被害に対する就農者と一般市民の意識差はどのようなものか？
→ 相当な意識の差があるものと考えられます。中山間地や里山が荒廃する中、市民の健全な暮らしが損なわれることにもつながりかねない。(H30.9)
- 現在の実施隊の過半数が60歳以上、うち猟銃保持者の65%が非農業従事者という状況で、若手育成の現状と方策は？
→ 鳥獣被害対策につきましては、隊員の負担が大きいため、専門的な知識と技術を要することなど、新しい担い手の確保がなかなか難しい状況である。先ずは多くの方に鳥獣被害の現状や実施隊の活動状況を告知していく必要がある。また、新しい担い手が活躍できるように、先進事例の活用や効率的な技術の継承など継続可能な活動の体制整備に努める。(H30.9)

質問を通して

行政活動に対するチェック機能としての自らの行動の透明性は、各地域における必要性、他の地域との整合性、それら対象が市民の負担もしくは利益に合致しているかという点も重要な要素である。課題を有する方々や行動を共にして課題を解決するため、色んな方々にお世話になっている。

例えば、街中の防犯の充実を考えたときに、中山間地や里山の安全確保を確保していく。中山間地や里山集落の人口減少による人手不足、人達林や農地の放棄が懸念に含まれている。一方、中山間地などで担い手確保のための農業振興事業を行えば、それによる耕作の再開が期待できる。このように、中山間地や里山の安全確保と農業振興事業の両立を図ることが必要である。

「隊の運営をしっかりと」という言葉が多くなっている。これらの事業を担う担い手が確保できるとして、隊員の一員として市民の負担の軽減を図りたい。円滑な行政運営の為に一層の調査と研究を進めていきたい。